



広島西ロータリークラブ会報

No. 2057

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 井原 俊彦
幹事 香川 基吉

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Reach Within to Embrace Humanity
「こころの中を見つめよう
博愛を広げるために」

本年度会長テーマ
「ユーモアでロータリーに
もっともっと笑顔を」

「ロータリー理解推進月間」

2012年 1月 5日 第2033回例会

◆ 会長時間 ◆

井原会長



“ロータリアンの高笑い”

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

“ロータリーの友”2010年1月号の表紙に一人の大柄なロータリアンが、小さなお宮をバックに日の丸扇子を両手に持って高笑いをしている写真があります。

私も会長運営方針として、“ユーモアでロータリーにもっともっと笑顔を”を掲げさせていただきましたが、2012年が始まるにあたり、改めてユーモアと笑いを強調したいと思います。

昔から“笑う門には福きたる”と云われていますように、我々人間は笑うことで健康になれるし、いい人間関係がつかれることは最近の色々な方面からの研究でも明らかです。

笑いの医学的効用については、免疫系のナチュラル・キラー（NK）細胞を活性化してガン細胞をやっつけるとか、リウマチ患者の痛みの原因となるインターロイキン6を減少させるとか、ネガティブな感情を溜め込まないようにする脳内神経伝達物質の働きを良くするとか、頭痛が治る、不整脈に良い、等々報告があります。

一方、我々は一人で笑うのではなく仲間と共に笑い合うと一層楽しくなり、その場の「笑いの感情」を共有することとなり、お互いの距離が縮ま

って親近感、一体感が強まります。また、「幸福感は伝染するという研究」（イギリス医師会雑誌2008年12月4日号）によりますと、「幸せだ、調子が良い、と言う人の幸せ感には知人の幸福感に依存し影響され」、写真が笑顔の人の友人には、やはり笑顔の写真が多かったという結果があるそうです。

今日は年頭にあたり我々が正月の間、家庭でためたかも知れないストレスを解き放ち、今年も笑顔にあふれる広島西RCである事を祈念して、皆で破顔大笑しましょう。

皆さんすみませんが御起立下さい。

私が“ワッハハハハ”を3回唱えます。それに続いて皆さんも一緒に“ワッハハハハ”を3回唱えましょう。馬鹿馬鹿しくて必ず大笑いできます。それではいきます。

ワッハハハハ、ワッハハハハ、ワッハハハハ。では皆でワッハハハハ、ワッハハハハ、ワッハハハハ。ありがとうございました。

☒ 久笠グループ7ガバナー補佐、有田IM実行委員長

インターシティミーティング出席依頼のご挨拶



● 会務報告

梶本副幹事

※2011～12年度インターシティ・ミーティングのご案内をBOXに入れております。理事役員及び入会3年未満会員は是非ご出席ください。

また、今回も全員登録の予定となっておりますので、多数ご出席をお願いします。

※2011～12年度広報補助金プロジェクトについてですが、広島東RCのRIの素材を使用した15秒のテレビCM放映企画が、RIより正式に承認され、RCでテレビCMされることとなりましたので、皆様ぜひご覧ください。

※国際ロータリー第2710地区事務局より、「この度の「タイ洪水被害義援金」に関しましては、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。皆様からいただきました義援金総額2,413,563円は、ラタクル会へ送金いたしました」との報告が入っております。

「ラタクル会」はビチャイ・ラタクル前RI会長の「慈愛の種を播きましょう」というテーマに表現されるような、高邁なロータリー思想に感銘を受け、35人の同期のガバナーによって創設された。

※BOXに新会員候補の照会が入っておりますので、よろしくをお願いします。

● 委員会報告

出席報告 梅田委員長

本日(1月5日・木曜日)			
会員数	82名	出席者	62名
欠席者	20名	ご来客	0名
ご来賓	2名	ゲスト	0名
		計	64名
前々回(12月15日・木曜日)			
		出席率	100%



※ SAA 齊藤委員長

本日より席替えです。

※ 親睦活動委員会 岡田委員長

新年明けましておめでとうございます。

昨年12月22日18時より、ここANAクラウンプラザホテルにおきまして夜間例会並びに家族同伴懇親会を開催いたしました。

今年は会員67名、73家族、お子様15名を含めて合計125名と数多くのご参加いただき、和気藹々とした楽しい懇親会となりました。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

余興はウエストパープルサウンズの演奏により、会員有志の『のど自慢大会』を開催しました。栄えある『のど自慢大賞』には吉幾三の雪

国を熱唱された中岡弘夫会員が会員の奥様方により選出されました。

暫時の歓談を挟んでサンタクロースがお子様に長靴のお菓子をお配りし、続いて恒例の福引を行いました。福引の詳細はスマイルBOXの時間で発表されることと思しますので、高額賞品の当選者はどうか覚悟しておいてください。

委員会メンバー、ウエストパープルサウンズの面々のご協力の下、何とか楽しい懇親会が開催できたのではないかと、胸を撫で下ろしております。

これで当委員会の事業もようやく半分を折り返すことができました。続く周年例会、日帰り家族会にも皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

以上で夜間例会並びに家族同伴懇親会の報告とさせていただきます。本当にご協力ありがとうございました。

● 同好会報告

☞ 紫雀会 岡田世話人

紫雀会の12月月例会が12月15日シサール麻雀室で開催されました。

今回は9名の参加で久々の3卓で、ワイワイと楽しい月例会となりました。

本年度から本格復帰の岡野賢太郎さんがプラス16万4千点のダントツで見事優勝しました。準優勝には小橋さんが、3位には木本さんが僅差で入りました。

5位の中村さんは最終戦東一局開局早々の親でいきなり藤田さんから国士無双を上がり、最終終了記録を打ち立てました。

次回1月の月例会は1月19日の第3木曜日、庚午クラブでの開催を予定しておりますので、今回と同様に数多くのご参加をいただきますよう宜しくお願いします。

祝 1月お誕生日おめでとうございます。

(9名)		
岡野君	佐伯君	梶君
荒谷君	金本君	諏訪(昭登)君
井原君	安部君	梶川君



● スマイルボックス SAA 齊藤委員長

☺ グループ6・7合同インターシティミーティングPR

グループ7ガバナー補佐の久笠君、合同IM実行委員長の有田君

今年度、RI第2710地区グループ6・7合同インターシティミーティングは、グループ7

が当番と言う事で、ご両名は何かと大変だと思
いますが、素晴らしいIMになります様、応援
しております。Wでご出宝頂きました。

☺ **笑いの門には福来る 井原君(自主申告・大枚)**
先程の「ワッハハハの3唱」は、日本笑学会で
習って来ました。この高笑いをする為に会長を
引き受けた様なものですから、本日は本望です。

☺ **紫雀会 12月例会報告**

昨年12月15日、シサール麻雀室で開催。優
勝は岡野君(ダブル)、2位は小橋君、3位は木
本君。尚、役マンで、**国士無双を中村哲郎君**が
上がられました。ご出宝お願いいたします。

☺ **今日は何の日？**

1月5日は、**囲碁の日**に制定されています。囲碁
同好会の皆様方の棋力アップをお祈りします。
**安部君、堀江君、日域君、梶川君、香川基吉君、
尾鍋君、尾形君、小田君、田中君、**ご出宝お願
いいたします。

● **スマンボックス**

☺ **竹本君**

昨年12月22日開催の、家族同伴クリスマス
例会の福引抽選会で、ご提供頂きました景品、
ヒロツクの佃煮を当日お忘れになられました。
尚、景品は後日、当選者の自宅へ宅配されてお
ります。

■ **卓 話**

年 男 放 談



河本 剛 会員

今日は、新年早々、お酒の話も
なんですが、ワインについて語
りたいと思います。

**ワインは皆さんよくご存知のよ
うに、主に白ワイン、赤ワイン、ロゼワインがあ
ります。**

白ワインは、発酵に果汁のみを使用し、赤ワイン
は、果実を丸ごと発酵させます。

赤ワインは、種や皮を丸ごと入れる為、渋みがあ
るんです。

では、ワインはどうやってアルコール発酵が始ま
るかということ、実はブドウの果実には、天然の酵
母が取り付いていて、この果汁が外に出ることで、
自然にアルコール発酵が始まるそうです。

ワインの産地を分けると、大きく4つに分類され

ます。

まずは、フランス、次にイタリア、それからスベ
イン、オーストリア、ドイツ等のその他のヨーロ
ッパ、それからニューワールドと呼ばれるヨーロ
ッパ以外の国、アメリカやオーストラリア、チリ、
南アフリカなどがあります。

その中でもフランスは世界で最もワインが盛んな
国です。

そんなフランスの中でも、「ボルドー」、「ブルゴ
ーニュ」、「ローヌ」が名産地として有名です。

ボルドーワインは濃厚でドロリとした固体感のあ
る紫色をしており、味わいも渋みが強く濃厚で重
量感のある味わいです。

ブドウ品種は、「カルベネ・ソーヴィニヨン」「メ
ルロー」「カルベネ・フラン」の3品種が主に使
用されていて、比較的、長熟タイプのワインが多
いのが特徴です。

ブルゴーニュワインは透明感のあるローズ色です。
味わいも濃厚で渋みの強いボルドーと違い、フル
ーティーで酸味が強く、繊細な味わいです。

赤ワインでは、ピノ・ノワールという品種単一で
造られるワインが多いのも特徴です。

そのぶどうの品種ですが、世界中には数え切れな
いほどありますが、ほとんどの地域で使用される
王動的な品種があります。その内3つを言います。
**それでは実際ワインをおいしく飲む為にはどうし
たらいいのか。**

まずは、ワイングラスです。

ワイングラスの形には、大きく3つの役割があり
ます。

① **ワインが暖まるのを防ぐ**

ワインには、飲んで上手いと感じる適正温度があ
ります。

もし、グラスのように手で握るような器であった
場合、せっかく適温でサーブされたワインも、ど
んどん温度が上昇してしまいます。

② **グラスに香りを溜める**

ワインは、その香りも楽しむお酒です。香りとも
に味を楽しむお酒です。

ワイングラスの形状は、漂う香りを溜め込んで、
口に含む時に同時に香りも楽しむ為、あのような
形状になっています。

③ **ワインを舌の最適な位置に誘導する**

人間の舌は、位置によって感じる味覚が異なります。
なので、ワインも口に含んだときに、最初に接触
する舌の位置によって、感じる味わいが大きく異
なります。ワイングラスに様々な形状があるのは
このためです。

次にワインを飲むための温度

赤ワインは室温で飲むのが好ましいとされていますが、室温は1年中変わりますので1年中室温でいいワケではありません。具体的には、15~18℃が良いとされています。またフランスのパリでは、夏でも17.8度にしかありませんのでOKですが、日本のような夏の温度が30度以上になるような地域では、室温ではよくありません。

白ワインは、赤ワインに比べてかなり低く、10℃前後くらいが適正な温度とされています。

最後に今までを踏まえて贈り物ワインの選び方です。

①まずは赤ワインか白ワインか

ここが最初の分岐点です。ワイン好きには結構、どちらか片方しか飲まない人も多くいます。

②次に柑橘系の果物が好きかどうか

ワインには、ボルドー系とブルゴーニュ系の大きく2つの方向性があります。

そこで、ブルゴーニュワインの特徴である「酸味」をチェックするための質問がこれです。

特に男性は、ブルゴーニュワインのフルーティーな酸味が苦手な人がいます。

この回答で「好き」と応えた場合は、相手が女性であれば、この時点でブルゴーニュワインの選択でOKです。ブルゴーニュワインは、一般に女性的と表現されるため、華やかなイメージがプレゼントに最適です。

ここで「いいえ」の場合は、ボルドーワインの相応しいと考えられるため、ボルドータイプがいいです。

③次にヴィンテージで選ぶ

ワインは、その年の天候がワインの品質に大きな影響を与えるため、ヴィンテージごとに人気・不人気があります。

④次に産地で選ぶ

ワインは世界中で作られており、ワインで有名なフランス以外にも、格安で高品質なワインがたくさんあります。

しかし、贈り物はどうしてもチープ感が出てしまうことは避けたい為、選ぶときはフランスがいいと思います。特にボルドーかブルゴーニュから選ぶことが、無難だと思えます。

以上、ワインについて簡単ではありますが、調べてみました。

皆さんのお役にたてば、これ幸いです。今年もワインをどんどん飲もうと思います。



前橋 寛 会員

結婚したのは27歳のときでした。子供というのは結婚すればいずれは自然に授かるものと思っていましたが、30歳を過ぎた頃から

少しずつ気になり初め、不妊治療専門の病院に行き始めました。妻曰く、不妊に悩む女性を通う病院の雰囲気は何ともいえない、張り詰めた雰囲気だったということです。

不妊治療はいろいろな方法がありますが、私達の場合は卵を採取して受精させ体内に戻すという方法を行いました。男性は何ら苦痛を伴いませんが、女性は排卵誘発剤でたくさんの卵をつくると、今度はこれをひとつひとつ体内から取り出さなくてはなりません。その痛みは内臓をえぐり出されるようなものらしく、その痛みからくる叫びはケモノのようで待合室にまで聞こえていたと言っていました。何度か繰り返して、失敗や2度の流産を経験して、ようやく三つ子を授かりました。当時は流れた二人は準備ができていなかった、ようやく準備ができたので戻ってきて三人になったのだと思いました。

不妊治療というのは女性にとっては肉体的にも精神的にも大変なことだし経済的にもとても負担になることであることをそのとき痛感しました。

お腹の中に3人居ることを知ったときは、正直喜び以上に母体のことが心配でなりません。病院からは数の調整はできるとの話もあったようですが、妻は頑として3人産むことを決めていたようでした。

できるだけ動かず、できるだけ子供を大きく育てることが必要とのことで、妊娠6ヵ月目には多胎児専門の市民病院に入院しました。

普通の妊婦の2.5倍位に膨らんだお腹から7月1日の11時に3人が2000グラムという未熟児サイズながら健康に生まれ、母体にも何ら問題がなかったことが何より嬉しいことでした。

子供は自然に授かることが何よりですが、なかなかそうはいかないことも少なくないのかもしれませんが、医者の手を借りることにではありますが、母体の栄養で育ちお腹から出てくるところは同じです。もしご親族に似たような境遇の方がおられたら温かい目で見守っていただけたらと思います。

● 卓話予告

日時	テーマ
1/19(木)	ロータリー情報委員会強調プログラム 諏訪昭登パストガバナー 「ロータリーの考え方とクラブ運営」